教科書検討の観点から見た内容の特色①

…視野を広げて　…あすへのメッセージ　頭…巻頭　末…巻末

教科書検討の観点	『中学道徳 あすを生きる』の内容の特色	主な関連ページ
1　教育基本法との関連		
同法第二条 【第一号】 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	●教材で扱う題材は、**発達の段階**を踏まえながら、家庭、学校、社会など幅広い分野の内容がバランスよく採用されている。	1年 p.62　11 門掃き 2年 p.30　5 五月の風―カナー 3年 p.168　32 一冊のノート　など
	●教科書の巻頭には**学び方**や**ミニ教材**が配置され、生徒が**主体的**に、かつ**見通し**をもって道徳科の学習に取り組めるよう配慮されている。	全学年 p.4　頭 道徳科での学びを始めよう！
	●**問題解決的な学習**や**体験的な学習**などに適している教材には、学習の進め方や深め方を示す**「学びを深めよう」**ページを提示しており、豊かな情操と道徳心を培うための道筋として参照できるように工夫されている。	1年 p.103　20 三人の乗客　学びを深めよう 3年 p.139　25 臓器提供　学びを深めよう　など
	●教材で学習する内容について、より**多面的・多角的**に考え、**補充的・発展的な学習**ができるよう、関係する教材の前後に**「視野を広げて」「あすへのメッセージ」**という**教材外のコラム**が適宜配置されている。	1年 p.34　いじめって何？ 2年 p.80　情報の受信と発信 3年 p.11　今日和さんからあなたへ　など
【第二号】 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	●「自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと」という道徳の基本を踏まえるとともに、自分自身のもち味をよりよい方向へと磨きをかけることで、**個性を生かし伸ばしていく**ことを支援するための適切な教材が配置されている。	1年 p.140　29 裏庭での出来事 2年 p.8　1 おじさん役と私 3年 p.72　12 新しい夏のはじまり　など
	●個人の価値の尊重という観点から、**いじめ問題**を重点的に取り上げ、**複数の教材とコラムを組み合わせたユニット「いじめと向き合う」**を**年間に複数配置**して、集中的かつ継続的に考えられるように配慮されている。	1年 p.28　いじめと向き合う 1年 p.30　5 さかなのなみだ 1年 p.34　いじめって何？ 1年 p.36　6 言葉の向こうに 1年 p.40　怒りの感情と上手に付き合おう　など
	●**キャリア教育**や**「社会に開かれた教育課程」**の理念を踏まえ、勤労の尊さについて多面的・多角的に考えられるよう、**複数の教材とコラムを組み合わせたユニット「よりよい社会を考える」**が**年間に複数配置**されている。 ●個々や社会の幸せを目指す**ウェルビーイング**を念頭に、さまざまな職業の人の生き方を取り上げることで、生徒が**自分のこととして**考えられるように配慮されている。	2年 p.12　ユニット よりよい社会を考える 2年 p.14　2 おばちゃんのくれた〝おまじない〟 2年 p.18　3 挨拶は言葉のスキンシップ 2年 p.22　直撃 仕事インタビュー！　など
【第三号】 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	●**人間尊重、人権尊重の精神**に基づき、**インクルーシブ**の考え方や**多様性**を尊重してあらゆる差別や偏見をなくし、公平で公正な**共生社会**の実現に積極的に努めようとする心を育て、自他の権利の尊重と、義務を果たす大切さについて考えられる教材が配置されている。 ● **いじめ問題**についても、**人権尊重**の視点から重点的に扱われている。	1年 p.86　16 どうして？ 1年 p.94　18 違いを乗り越えて 2年 p.40　7 リスペクト　アザース 3年 p.68　11 No Charity, but a Chance! 3年 p.82　14 命の大切さ 3年 p.158　人権課題への取り組み　など
	●自分も**社会の一員**であるという**公共の精神**の自覚を深め、積極的に**社会参画**や**社会連帯**に努める態度を養うための適切な教材が配置されている。	1年 p.112　22 あったほうがいい？ 2年 p.136　28 マークはなんのために？ 3年 p.178　34 サトシの一票　など
【第四号】 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	●**「生命の尊さ」**を重点内容項目として設定し、全学年に３教材ずつ配置することで、連続性や有限性、社会的関係性や他の生命との関係性など、より多面的・多角的に**自他の生命**について考えられるように配慮されている。	1年 p.48　8 ばあば 2年 p.140　29 最後のパートナー 3年 p.48　8 エリカ―奇跡のいのち―　など
	●**自然**との関わりを深く認識することを通して、有限である人間の存在と、自然の中で生かされていることを自覚させ、そのような人間が、自然に対して謙虚に向き合うことの大切さを理解できるようにしている。	1年 p.150　31 オーロラ―光のカーテン― 2年 p.82　16 樹齢七千年の杉 3年 p.148　28 星空を届けたい　など
	●自ら**環境保全**の活動に参加するなどして、生徒自身の生活に結びつけ、自分のできる範囲で貢献しようとする態度を育成できるような教材が選ばれている。	1年 p.52　9 木の声を聞く 2年 p.96　19 上勝から世界を変える 2年 p.100　地球の資源と持続可能な社会 3年 p.118　21 海のごみは「まちなか」で生まれる
【第五号】 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	●**我が国と郷土の発展**や、**伝統と文化**の育成・継承に尽くした先人の努力とその精神に触れるとともに、生徒たち自身に新たな文化の創造と、我が国と郷土の発展に寄与する責務があることを自覚できる教材やコラムが選ばれている。	1年 p.162　34「肝心」のバスガイド 2年 p.130　26 行く年、来る年 3年 p.22　4 使い手を驚かせて魅了する　など 全学年　受け継ぐ かたち・思い・地域のよさ　など
	●国際的視野に立ち、日本人としての自覚をしっかりもって**国際理解**に努めるとともに、他の国や地域がもつ独自の文化や伝統、歴史を尊重しようとする態度を育成することから、**平和な国際社会**の実現のために貢献できることは何かを考えられるように工夫されている。	1年 p.146　30 おじいさんの100ドル 2年 p.114　23 アフガニスタンの人々と共に 3年 p.44　7 命のトランジットビザ　など
2　学校教育法との関連		
学校教育法に適合しているか。	**生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。**（学校教育法　第三十条第二項）	
(1) 基礎的な知識及び技能を習得させるための工夫はあるか。	●教科書の巻頭で、道徳科の学習意義や内容、方法が理解できる**オリエンテーション**が設けられ、さらにミニ教材でこれからの学びを体験できるように工夫されている。 ●教材の末尾に**2つの発問例**が示され、教材を通して考えたいことについて生徒が共通理解をもてるよう工夫されている。 ●**コラム**では、教材に関する話題を扱うことで知識や技能を補い、より深く考えられるように工夫されている。	全学年 p.4　頭 道徳科での学びを始めよう！ 全学年　考えてみよう 自分に＋１ 全学年　全コラムを通して
(2) (1) を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の能力をはぐくむための工夫はあるか。	●全学年、６教材ずつ**「学びを深めよう」**が設定されており、**問題解決的な学習**や**体験的な学習**などの手法を用いた学習ができるよう工夫されている。それぞれの学習過程の中で、自分の考えを深めたり、友達と話し合ったり、発表や演技をしたりする活動例が適切に示唆されている。 ●上記のような活動をするうえでヒントになる資料や思考ツールなどが**「学びを深めるヒント」**で例示されている。	全学年　学びを深めよう （各学年もくじの教材名の下に!のマークを付けている）
(3) 主体的に学習に取り組む態度を養うための工夫はあるか。	●生徒が興味・関心をもって学習できるよう、身近な生活場面から文学作品まで**多岐にわたる教材**が選ばれている。 ●教材の冒頭に**学びのキーワード**を示すことで、学びの**見通し**をもち、**主体的**に学習できるよう配慮されている。	全学年　全教材を通して 全学年　全教材冒頭の学びのキーワード

教科書検討の観点から見た内容の特色②

視…視野を広げて　メ…あすへのメッセージ　頭…巻頭　末…巻末

教科書検討の観点	『中学道徳 あすを生きる』の内容の特色	主な関連ページ
3　学習指導要領との関連①		
(1) **学習指導要領の目標に適合しているか。**	**第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。**（中学校学習指導要領「第3章 特別の教科 道徳」の「第1目標」）	
	●学習指導要領で育成が目指されている資質・能力の**「三つの柱」**を踏まえ、道徳科の目標である道徳性の育成に資するよう、生徒の心身の発達の段階や特性、学校や地域の実態を考慮して指導できるように配慮されている。	全学年　全教材を通して
①**道徳的諸価値についての理解**に配慮されているか。	●巻頭のオリエンテーションの**「道徳科での学びを始めよう！」**では、生徒が**「考え、議論する道徳」の基礎・基本**として理解しやすいよう、道徳的諸価値や学習方法などが**視覚的**に示されている。（**「知識及び技能」**関連）	全学年 p.4 頭 道徳科での学びを始めよう！ 全学年　別冊『道徳ノート』p.1 頭 「よりよく生きる」ために大切な内容 全学年　本冊・別冊『道徳ノート』末 内容項目別教材一覧
	●各教材の冒頭に**「学びのキーワード」**を明示し、生徒が自分との関わりで道徳的価値について理解できるよう配慮されている。	全学年　全教材を通して
②**自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考える**ための工夫がなされているか。	●**問題解決的な学習**や**体験的な学習**などに適する教材に配置された**「学びを深めよう」**では、**対話的・協働的**な学習場面が例示され、生徒が多面的・多角的に学習できるよう工夫されている。（**「思考力、判断力、表現力等」**関連）	1年 p.26　4 「愛情貯金」をはじめませんか 学びを深めよう 2年 p.74　14 ヨシト　学びを深めよう
	●**別冊『道徳ノート』**には、**自分の考えを書いたり友達の意見や話し合いをメモしたり**することができ、広い視野から自己を見つめられるように工夫されている。	全学年　別冊『道徳ノート』 全教材を通して
③**人間としての生き方についての考え**を深めるための工夫がなされているか。	●生徒が人間としての生き方について教師と共に深く考え、**人間としてよりよく生きる喜び**や**勇気**が得られるように、身近な人物から先人までの、悩みや葛藤などの心の揺れや、それを乗り越える強さや気高さなどの**多様な生き方**が扱われている。（**「学びに向かう力、人間性等」**関連）	全学年　全教材を通して
④**道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度**を育てるための工夫がなされているか。	●各教材の末尾には、**「考えてみよう」**と**「自分に＋1」**の**2つの発問例**が設定されている。**「考えてみよう」**は、その授業のねらいに到達するための発問例で、この発問を基に考えることで道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を育てられるように工夫されている。	全学年　全教材を通して
	●**「自分に＋1」**は、授業で学んだことを**前向きに自分に生かす**ための発問例で、この発問によって、特に道徳的判断力や実践意欲と態度の育成が期待できる。	全学年　全教材を通して
(2) **生徒が自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりできるような工夫や、評価の具体的な手立てはあるか。**	●**別冊『道徳ノート』**に自分の考えなどを書くことで、道徳科の学びを積み重ね、生徒が**自らの成長を実感**し、**自分の生き方に自信や誇りがもてる**よう配慮されている。 ●**別冊『道徳ノート』**を活用することで、**生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子**を継続的に把握でき、**評価を計画的・発展的に行う**ための手立てが用意されている。	全学年　別冊『道徳ノート』 全教材を通して 全学年　別冊『道徳ノート』p.38 末 道徳科で学んだことを振り返ってみよう
	●教材以外に多種多様な**コラム**が掲載されており、学習内容を**補充・発展**させ、**他教科等との関連**やこれからの**実生活**に生かすことができるように工夫されている。	1年 p.60　視 毎日を安全に過ごすために 2年 p.148　視 自分とみんなの命を守ろう 3年 p.32　視 お互いを大切にするコミュニケーション など

教科書検討の観点	『中学道徳 あすを生きる』の内容の特色	主な関連ページ
(3) **生徒が主体的に道徳性を養うための指導への配慮がなされているか。**	●学習展開…**「考え、議論する道徳」**の実現のため、授業の導入から終末まで、生徒の思考の流れに沿った学習展開により、**自発的な思考**を引き出す配慮がなされている。 ①**「学びのキーワード」**の提示…各教材の冒頭に、学習のめあてとなるキーワードが掲載されているため、生徒が**見通し**をもって**主体的**に学習に取り組めるよう配慮されている。 ②**「考えてみよう」**…授業のねらいに迫るために**考える価値のある**発問例が示されている。 ③**「自分に＋1」**…授業で学んだことを**前向きに自分に生かす**ための発問例で、道徳的価値を自分との関わりで理解し、**これからの生徒自身の生き方**に生かしていけるよう配慮されている。	全学年　全教材を通して
(4) **多様な考え方を生かすために、言語活動の充実への配慮がなされているか。**	●**「考え、議論する道徳」**や**対話的・協働的な学び**の実現のため、グループトークや、付箋や思考ツールを活用したより効果的な議論の方法が「学びを深めよう」の**「学びを深めるヒント」**などで示されており、**話すことや聞くこと**が大切にされている。	1年 p.88　16 どうして？　学びを深めよう 2年 p.68　13 他人の靴を履いてみる 学びを深めよう　など
	●**別冊『道徳ノート』**を活用することで、生徒が自ら考え議論し、新しく発見した道徳的価値の理解や、他者から学んだ内容を書き留めたり、振り返ったりすることができ、**書く活動の充実**が図れるように工夫されている。 ●**別冊『道徳ノート』**には、**友達の意見や話し合いをメモする**ことができ、**多面的・多角的**に考えられるように配慮されている。	全学年　別冊『道徳ノート』 全教材を通して
(5) **問題解決的な学習や体験的な学習などの多様な学習方法を取り入れ、主体的・対話的で深い学びが実現できるように工夫されているか。**	●**問題解決的な学習**…問題解決的な学習に適した教材には**「学びを深めよう」**が設定され、**主体的**に問題をつかみ、**対話的**に学習できるよう工夫されている。**問題解決的な学習のステップ**には、「問題把握」→「自力解決」→「集団検討」→「まとめ」を原則として採用し、**主体的・対話的で深い学び**となるよう配慮されている。 ●一部の「学びを深めよう」の**「学びを深めるヒント」**には、**考えを深めるための資料や思考ツール**が例示され、より**多面的・多角的**に、**深い学び**が得られるよう工夫されている。	1年 p.88　16 どうして？　学びを深めよう 2年 p.160　32 足袋の季節　学びを深めよう 3年 p.101　17 二通の手紙　学びを深めよう　など
	●**道徳的行為に関する体験的な学習**…体験的な学習に適した教材には**「学びを深めよう」**が設定され、中学生の発達の段階に合った**無理のない体験的な学習**が示されている。 ●一部の「学びを深めよう」の**「学びを深めるヒント」**には、**演技をする際、見る際のポイント**などが示され、**主体的・対話的で深い学び**が実現できるよう工夫されている。	1年 p.26　4 「愛情貯金」をはじめませんか 学びを深めよう 2年 p.68　13 他人の靴を履いてみる 学びを深めよう 3年 p.112　19 電車の中で 学びを深めよう　など

教科書検討の観点から見た内容の特色③

視…視野を広げて　あ…あすへのメッセージ　頭…巻頭　末…巻末

教科書検討の観点	『中学道徳 あすを生きる』の内容の特色	主な関連ページ
3　学習指導要領との関連②		
(6) **現代的な諸課題に関する内容が適切に扱われているか。** ①いじめの防止	●**いじめの未然防止**が全学年で最重要テーマとして設定され、**複数の教材とコラムを組み合わせたユニット「いじめと向き合う」**を**年間に複数配置**して、集中的かつ継続的に考えられるように配慮されている。 ●ユニットには、いじめを**直接的**に扱った教材だけでなく、「友情、信頼」など**間接的**に扱った教材もあり、総合的に生徒の心を育てられるように配慮されている。 ●ユニットには、いじめ防止に関わる**知識**のコラムといじめ防止の**スキル**に関するコラムの２種類があり、特別活動などと関連していじめの防止に資する構成になっている。	3年 p.26　ユニット いじめと向き合う 3年 p.28　5 違うんだよ、健司 3年 p.32　視 お互いを大切にするコミュニケーション 3年 p.34　6 卒業文集最後の二行 3年 p.42　視 いじめのない社会へ　など
②安全の確保	●**防災、生活安全（防犯）、交通安全**の観点を含む教材やコラムが、発達の段階に応じて適切に掲載されている。 ●特に防災については、**阪神・淡路大震災**や**東日本大震災**、近年の大規模な**自然災害**などから**防災・安全教育**への関心や必要性が高い現状を踏まえ、生徒一人ひとりが災害を乗り越え次世代の社会を形成していけるよう、多くの題材を掲載し、関心を高める工夫がされている。	1年 p.56　10 疾走、自転車ライダー 1年 p.60　視 毎日を安全に過ごすために 2年 p.144　30 避難所にて 2年 p.148　視 自分とみんなの命を守ろう 3年 p.78　13 稲むらの火 3年 p.182　35 希望　など
③情報モラル、情報活用能力の育成	●**全学年で情報モラルに関わる教材・コラムを掲載**し、**情報社会の倫理や情報セキュリティ、デジタル・シティズンシップ**等に関わる内容について、発達の段階に応じて「友情、信頼」「遵法精神、公徳心」「相互理解、寛容」など多様な内容項目の教材から総合的に学習できるよう工夫されている。 ●コラムでは、インターネットや**SNS、AI**の特長と注意点などが取り上げられ、**教科等横断的な情報活用能力の育成**および**プログラミング教育**に資するよう配慮されている。	1年 p.66　12 使っても大丈夫？ 1年 p.70　視 情報社会とコミュニケーション 2年 p.76　15 ネット将棋 2年 p.80　視 情報の受信と発信 3年 p.60　10 親友と語り合った「孤独の解消」 3年 p.66　視 AIと情報社会　など
④科学技術の発展と生命倫理との関係	●生命倫理をめぐっては多様な道徳的価値に関わる葛藤があるため、発達の段階に配慮しながら、適切な教材が配置されている。	1年 p.124　25 iPS細胞で難病を治したい 2年 p.124　25 命を見つめて —猿渡瞳さんの六百四十六日— 3年 p.136　25 臓器提供　など
⑤社会の持続可能な発展（ESD、SDGs）	●社会の持続可能な発展をめぐっては、**生命、人権、環境、平和**などさまざまな問題があるため、**ESD、SDGs**の理念を参考に、生徒が**グローバルな視野**をもち、**よりよい社会の創造**について考え、諸課題を解決しようとする意欲が育めるような教材が選ばれている。 ●これらの諸課題には多様な見方・考え方があるため、多様な見方のできる題材を扱う、話し合い活動を促すなど、一面的な理解に陥らないように配慮されている。	1年 p.106　21 あらゆるものに神は宿っている 1年 p.110　視 地球の未来のために—SDGs— 2年 p.96　19 上勝から世界を変える 2年 p.100　視 地球の資源と持続可能な社会 3年 p.122　22「川端」のある暮らし 3年 p.126　23 ちょっと寄り道を —研究者・眞鍋淑郎— 3年 p.130　視 気候変動と生物多様性 3年 p.154　29 本とペンで世界を変えよう　など
⑥キャリア教育、社会に開かれた教育課程	●**SDGs**や**キャリア教育**、**「社会に開かれた教育課程」**の理念、さらに**ウェルビーイング**の考え方を踏まえ、生徒が就業を含む**将来の生き方や社会への参画**について多面的・多角的に考えられるよう、**複数の教材とコラムを組み合わせたユニット「よりよい社会を考える」**が**年間に複数配置**されている。 ●このユニットによって、生徒が学習内容を**実生活**に生かし、**社会問題への関心**を高められるよう工夫されている。	3年 p.54　ユニット よりよい社会を考える 3年 p.56　9 私も高校生 3年 p.60　10 親友と語り合った「孤独の解消」 3年 p.66　視 AIと情報社会 3年 p.68　11 No Charity, but a Chance!　など

教科書検討の観点	『中学道徳 あすを生きる』の内容の特色	主な関連ページ
⑦伝統文化教育、国際理解教育	●発達の段階に合わせて、**郷土の身近な教材**から**世界規模の教材**まで各学年にバランスよく配置され、それぞれの学年でのねらいが達成できるよう配慮されている。	1年 p.94　18 違いを乗り越えて 2年 p.62　12 和樹の夏祭り 3年 p.44　7 命のトランジットビザ　など
⑧その他の諸課題	●**食育・健康教育、消費者教育、法教育**などの現代的な諸課題についても、教材やコラムで適切に扱われている。 詳しくは本書 ▶ p.46「テーマ別 教材・コラム一覧」	1年 p.116　23 ふれあい直売所 2年 p.144　30 避難所にて 3年 p.140　26 独りを慎む　など
(7) **地域性に配慮するとともに、多様な教材が扱われているか。**	●**北海道から沖縄県まで**、全国各地の魅力的な題材が教材・コラム化されており、生徒が興味をもって学習できるよう工夫されている。地域教材の活用や開発にも配慮され、また生徒が**自分たちの地域の魅力**を発見し発展に尽くそうとする意欲が育めるように配慮されている。 詳しくは本書 ▶ p.48「地域別 教材・コラム一覧」	1年 p.106　21 あらゆるものに神は宿っている 1年 p.82　15 震災を乗り越えて —復活した郷土芸能— 1年 p.162　34「肝心」のバスガイド 2年 p.54　10 時を越えて—樫野で生まれたきずな— 3年 p.122　22「川端」のある暮らし 全学年　視 受け継ぐ かたち・思い・地域のよさ　など
	●**生命の尊厳、社会参画、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応**などに関わる多様な教材が**全学年**で扱われている。	1年 p.128　26 その声は 2年 p.130　26 行く年、来る年 3年 p.8　1 相撲を世界に 3年 p.160　30 生きてこそ—石井筆子の生涯—　など
(8) **家庭や地域社会との連携に配慮されているか。**	●「道徳科」がどのような教科なのか、またこの教科書でどのようなことを学ぶのかを巻頭や巻末でメッセージ性をもって伝え、**学校・家庭・地域の連携**を示唆している。 「小中連携」については本書 ▶ p.39	全学年 p.4　頭 道徳科での学びを始めよう！ 全学年　本冊・別冊『道徳ノート』末 先生、保護者の方へ
	●**別冊『道徳ノート』**には保護者も記入できる**自由欄**が用意されており、家庭との連携を大切にされている。	全学年　別冊『道徳ノート』p.38 末 道徳科で学んだことを振り返ってみよう
(9) **道徳科を要に、他教科等への広がりを考慮した扱いになっているか。**	●発達の段階への配慮とともに、学校生活の目標や学校行事、伝統的な行事、他教科の学習などの、**他教科等の内容および実施時期との関係を考慮した教材配列**がなされている。これによって、教育活動全体を貫く「要」としての**道徳科の特質**を生かして、**カリキュラム・マネジメント**ができるように配慮されている。 ●２年生では**職場体験学習**に関連して教材やコラムを複数配置するなど、特別活動などでの多様な**体験活動を生かした道徳科の授業**が実施できるように工夫されている。	全学年 p.2　頭 もくじ 2年 p.12　ユニット よりよい社会を考える 2年 p.14　2 おばちゃんのくれた゛おまじない。 2年 p.18　3 挨拶は言葉のスキンシップ 2年 p.92　18 小さな工場の大きな仕事 2年 p.106　21 行動する建築家　坂　茂　など
	●**教科横断的な視点で資質・能力を育む**ことができるよう、また各教科等における道徳教育の指導を、道徳科において補ったり、深めたり、統合・発展させたりできるように、巻末に**他教科等との関連**が示されている。 詳しくは本書 ▶ p.50「学年別 教材配列」	全学年　末 内容項目別教材一覧
(10) **生徒の興味・関心を引き出し、持続させる工夫はなされているか。**	●**身近な生活場面**や**スポーツ選手**の教材、**漫画**形式や**グラフ**を扱う教材など、多岐にわたる教材で生徒の**学習意欲**を喚起できるよう工夫されている。	1年 p.16　3 ゛村人B。には…… 2年 p.120　24 制服は誰のもの 3年 p.118　21 海のごみは「まちなか」で生まれる など
	●すべての教材・コラムに**二次元コード**を表示し、インターネット上に用意された**教科書QRコンテンツ**（参考画像や動画など）を閲覧することで、生徒が興味・関心をもち、また家庭での**自主学習**ができるなど**個別最適、協働的な活動**にも資するよう配慮されている。 ●**別冊『道徳ノート』**にも二次元コードを表示し、さまざまな学習場面に対応できるよう配慮されている。	全学年 p.2　頭 もくじ 全学年　本冊・別冊『道徳ノート』 各教材・コラムの二次元コードから

教科書検討の観点から見た内容の特色④

視…視野を広げて　メ…あすへのメッセージ　頭…巻頭　末…巻末

教科書検討の観点	『中学道徳 あすを生きる』の内容の特色	主な関連ページ
4　構成・配列		
(1) 発達の段階に即して道徳性を育成できるように、教材が系統的・発展的に配列されているか。	●発達の段階や、学校生活および他教科等の学習内容・時期との関係、内容項目間の関連を考慮し、**いじめ**や**よりよい社会**に関わる内容については**複数の教材やコラムがユニット化**され、**年間に複数配置**されている。これにより1年間の学習の流れを重視しながら、より**深い学び**が得られるように工夫されている。 ●特に**いじめ問題**については、各種調査データを参考に、**いじめが発生しやすい学年や時期に合わせてユニットを配置**するなど工夫されている。	2年 p.28　ユニット いじめと向き合う 2年 p.30　5 五月の風―カナ― 2年 p.34　6 五月の風―ミカ― 2年 p.38　視 自分の考え方を見つめよう 2年 p.40　7 リスペクト　アザース 2年 p.44　視 いじめをなくすために　など
	●その他**「安全な生活」「情報社会」**などの重要なテーマについても、全学年で**系統的・発展的**に学習できるよう配列されている。	1年 p.70　視 情報社会とコミュニケーション 2年 p.106　21 行動する建築家　坂　茂 3年 p.174　33 キラー・ゼブラと呼ばれて　など
	●中学校３年間の発達の段階を考慮し、**系統的・発展的**に学習できるよう**各学年のテーマ**を設定している。 **1年**…新しい自分と**「であう」**（**自己理解**の深化、**自尊感情**の育成） **2年**…人との関係を**「みつめる」**（**社会参画の意識**と**自己有用感**の育成） **3年**…よりよい人生を**「ひらく」**（**公共の精神**や**国際社会への意識**、**誇りと志のある生き方**の育成）	全学年　頭 表紙裏
	●**キャリア教育**の理念に配慮した小・中・高等学校などの**校種間連携**についても、教材の選定や配列において工夫が加えられている。	1年 p.78　14 私らしさって？ 3年 p.178　34 サトシの一票　など
(2) 内容項目の分量が適切に配分されているか。	●学習指導要領の内容項目が過不足なく押さえられているとともに、**重点項目**には**複数の教材**が掲載されている。 詳しくは本書 ▶ p.44「内容項目別 教材一覧」	全学年　末 内容項目別教材一覧
	●各学年とも35の教材がバランスよく掲載されており、各学校で年間指導計画を検討する際には、**教材の差し替え**や**自主教材の開発**に役立てることができる。	全学年 p.2　頭 もくじ
(3) 学習のねらいが明確に示され、問題解決的な学習など多様な指導方法に取り組めるよう配慮されているか。	●すべての教材の冒頭に**学びのキーワード**が記載され、生徒が**見通し**をもって**主体的**に学習できるように配慮されている。 ●生徒の発達の段階に即し、**ねらいを達成するのにふさわしい発問**が掲載されている。	全学年　全教材を通して
	●**問題解決的な学習**や**体験的な学習**を実施するための手厚い配慮が施されている。	1年 p.103　20 三人の乗客　学びを深めよう 3年 p.112　19 電車の中で　学びを深めよう　など
	●**別冊『道徳ノート』**では、**発問欄が空欄**になっているため、生徒の実態に応じた発問を設定するなど、**柔軟で自由な取り扱いができる**よう工夫されている。	全学年　別冊『道徳ノート』 全教材を通して
	●**別冊『道徳ノート』**は、授業者の**ワークシート作成の負担を削減**するとともに、共通の学習の土台として、**情報共有や学びの保障**にも資するものとなっている。	全学年　別冊『道徳ノート』 全教材を通して
(4) 学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に配慮されているか。	●**別冊『道徳ノート』**では、生徒が自ら考え議論し、新しく発見した道徳的価値や他者から学んだことを書き留めることで、**協働的な学び**が実現できるよう工夫されている。 ●**別冊『道徳ノート』**に自らの考えや学びを積み重ねることで、**個別最適な学び**に資することができるよう工夫されている。	全学年　別冊『道徳ノート』 全教材を通して
	●**教科書QRコンテンツ**を活用することで、さまざまな授業を実施するための配慮が施されている。特に、**朗読音声はすべての教材に用意**されており、**読字に困難さのある生徒などの支援**に活用できる。	全学年　本冊・別冊『道徳ノート』 各教材・コラムの二次元コードから

教科書検討の観点	『中学道徳 あすを生きる』の内容の特色	主な関連ページ
5　正確性及び表記・表現		
(1) 生徒の発達の段階に応じた活字の大きさ・文字数・文章表現等がなされ、平易で理解しやすいように工夫されているか。	●文字の大きさや文字数は適切で、平易な文章表現である。 ●漢字は、原則として中学校で学ぶ漢字までを使用し、中学校で学ぶ漢字や固有名詞などの漢字のすべてに振り仮名をつけ、**読みの抵抗が少なくなる**よう配慮されている。 ●脚注欄、側注欄を活用し、やや難解な語句や、教材の読み取りに必要な**補足説明が丁寧**になされている。 ●全体を通してレイアウトに工夫を凝らし、**図版が鮮明で大きく配置**されるなど、**迫力のあるページ構成**で生徒が理解しやすく**興味・関心**をもてるよう工夫されている。 ●生徒が**学習内容を把握しやすい**よう、各教材の冒頭に内容項目の４つの視点の1つがアイコンで示されている。 ●**人間尊重**の精神に基づき、登場人物の性別、人種、身体的な特徴などに偏りや不適切な扱いがないよう、教科書全体を通じて**人権に配慮**された表記・表現になっている。	全学年　全ページを通して
6　造本		
(1) 特別支援教育の観点、ユニバーサルデザインへの配慮	●特別支援教育への配慮や**カラーユニバーサルデザイン**の観点から、**大内 進先生（元国立特別支援教育総合研究所特任研究員）**による校閲のもと作成されている。 ●**カラーユニバーサルデザインへの配慮**…色覚特性の有無を問わず、すべての生徒にとって見やすいように色調や色の組み合わせが細部まで配慮されている。 ●**読み取りやすさへの配慮**…スムーズに読み進められるように**UDフォント**を使用し、本文の割り付けは読みやすいまとまりで折り返すように配慮されている。また、教材名の下に**主な登場人物の欄**を配置するなどして、**教材を読み取る際の抵抗を緩和**するための配慮がされている。	全学年　全ページを通して
(2) 印刷・製本	●**大きさ・判型への配慮**…本冊、別冊ともにB5判を採用し、教室の机上で扱いやすいよう配慮されている。 ●**印刷の鮮明さ、製本の堅牢さ**…印刷は色彩豊かで鮮明で、表紙には美しく丈夫な表面加工が施されているほか、丈夫なあじろ綴じが採用され、本が大きく開くように改良されている。 ●**装丁の工夫、使いやすさへの配慮**…本冊と別冊の２分冊で製本されているため、授業中や授業後のノート提出時などの、役割を分けた多様な活用に配慮されている。また、表紙の名前欄は記入しやすいよう加工されており、別冊は表と裏両面に名前欄がある。 ●**安全・健康への配慮**…教科書の表紙には従来よりも工夫された表面加工を施すなど、**化学物質に過敏な生徒**に少しでもやさしいものになるよう配慮されている。 ●**環境への配慮**…**植物油インキ**と**再生紙**が使用されている。 ●**軽量化への取り組み**…生徒の負担を軽減するため、ページ数を極力抑え、通常の上質紙よりも**軽くて裏写りの少ない用紙**を使用することで、現行の教科書よりも３学年合計で重さ約170グラム減が実現されている。	全学年　全ページを通して